

コロナ禍から回復の兆し見えるも、 仕入・原材料価格等の上昇が収益圧迫することを懸念 ～経営諸課題実態調査結果概要～



1. 景気認識について

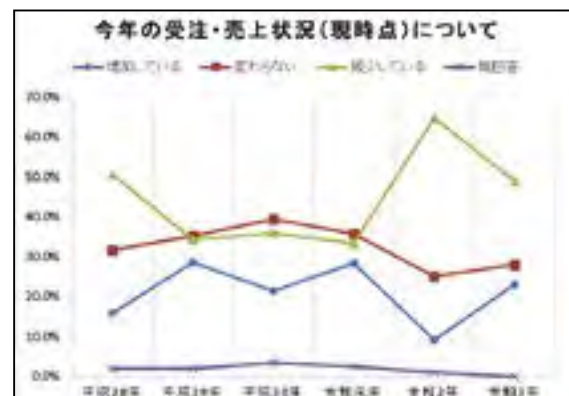
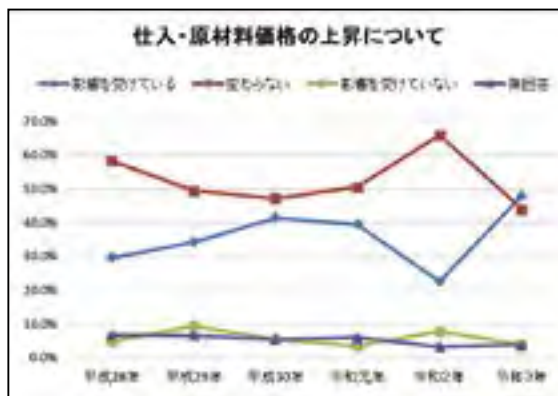
今年の受注・売上状況について「減少している」が49%と昨年度調査と比較して約15%減少したが、全体の約半数を占め、依然として新型コロナウイルスによるマイナスの影響は続いていると言える。しかしながら、「増加している」が23%と約14%増加し、回復の兆しも窺える。また、仕入・原材料価格の上昇については、影響を受けている事業所が5割と大幅に増加し、様々な業種で仕入・原材料価格が上昇している。

2. 金融について

金融機関の貸出姿勢について、「積極的」が約28%に減少し、「どちらともいえない」が約22%に増加。昨年度はコロナウイルス特別貸付等の支援策が影響して貸出姿勢は積極的であったが、今年度はやや慎重なことが窺える。

3. 経営諸課題について

「人材の確保」が最も多く、26.6%。次いで「受注の減少・販売不振」が23.4%となり、依然として新型コロナウイルスによるマイナスの影響や人材の不足が課題となっている。また燃料費等の値上げや消耗品代などにより「経費の増大」は約7%増加している。



※調査結果の詳細は当所ホームページをご覧ください。

【お問合せ】 中小企業振興部 TEL 025-290-4212 (直通)

電子帳簿保存法が改正されます (2022年1月施行) 電子データで受け取った取引情報は書面保存が認められません。

令和3年度の税制改正において、「電子計算機を使用して作成する国税関係帳簿書類の保存方法等の特例に関する法律(平成10年法律第25号。以下「電子帳簿保存法」)」の改正により(令和4年1月1日から)、帳簿書類を電子的に保存する際の手続等について抜本的に変更されます。ご注意ください。

主な改正事項

<電子帳簿等保存改正事項>

- 1 税務署長の事前承認制度の廃止
- 2 優良な電子帳簿に係る過少申告加算税の軽減措置を整備
- 3 最低限の要件を満たす電子帳簿についても、電磁的記録による保存等が可能に

<スキャナ保存に関する改正事項>

- 1 タイムスタンプ要件、検索要件等の緩和
- 2 定期検査までの原本保存や、事務処理担当者は2名以上での対応が求められていた適正事務処理要件の廃止

<電子取引に関する改正事項>

- 1 適正な保存を担保する措置の見直し
(申告所得税及び法人税における電子取引の取引情報に係る電磁的記録について、その電磁的記録の出力書面等の保存をもってその電磁的記録の保存に代えることができる措置の廃止)

詳細は国税庁のホームページを参照 <https://www.nta.go.jp/law/joho-zeikaishaku/sonota/jirei/index.htm>
又はお近くの税務署までお問合せください。(新潟税務署 TEL 025-229-2151)

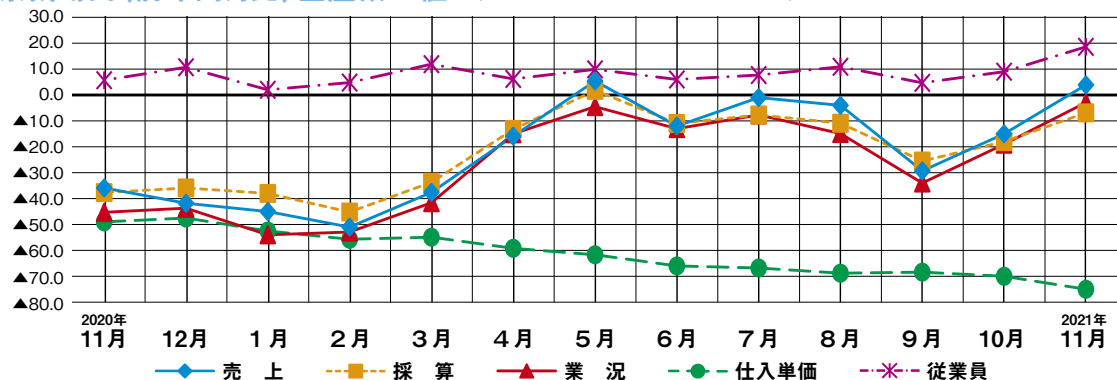
【11月の概要】

業況判断を示すDI値は、売上・採算・業況DIで2ヵ月連続して改善した。いずれも10ポイント以上の改善となり、特に売上については今年5月以降6ヵ月ぶりにプラス水準まで上昇。

先行き見通しについても、売上・採算・業況DIで2ヵ月連続改善し、業況DIについては11ポイントと大幅な改善となっている。反面、仕入単価DIについては、業況・先行きともに2ヵ月連続の悪化となり、仕入価格上昇の影響が窺える。

新型コロナウイルスの感染者数が急激に減少したことで、明るい見方や先行きへの期待感も多い反面、第6波の懸念が完全に払拭できない中で、当面様子見の状況が続くと予想される。

景気動向(前年同月比)全産業DI値 (2020年11月～2021年11月)



	全産業平均DI値					向こう3か月間の先行き見通しDI値				
	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
9月	▲29.3	▲25.5	▲34.0	▲68.4	4.7	▲12.3	▲17.0	▲20.8	▲34.0	11.3
10月	▲15.0	▲18.0	▲19.0	▲70.0	9.0	1.0	▲17.0	▲11.0	▲46.0	15.0
11月	3.9	▲6.9	▲2.9	▲75.0	18.6	2.0	▲10.8	0.0	▲47.1	17.7



晴れ
(30≤DI)



曇りのち晴れ
(15≤DI<30)



曇り
(0≤DI<15)



曇りのち雨
(▲20≤DI<0)



雨
(DI<▲20)

建設業

コロナ沈静化で経済活動も上向き。関東方面での需要が多く、求人しているものの応募が少ない。(管工事業)
ようやく明るい兆しが見える。市内のマンション建築や駅前開発など、期待できる要素もある。(ガス設備)

製造業

材料費の高騰がいつまで続くのか懸念される。(鉄工)
ようやく世の中が動き始めたように感じるが、最低賃金上げは経営者として頭が痛い。(印刷)

卸売業

緊急事態宣言も解除され、人の動きも活発になり、飲食需要の拡大が期待される。(青果)
仕入価格上昇の影響を価格に転嫁したくないが、しなければ利益が圧迫されてしまう。(紙製品)

小売業

少しずつ売上も上向き傾向だが、第6波への懸念もあり購買行動も慎重に見える。(百貨店)

サービス業

コロナ前までの回復は期待できない。加えて円安、原油高、雇調金が3月まで等、依然厳しい。(タクシー)
徐々に経済活動の動きが出てきているが、原油高騰等慎重に見極めコストを調整していく必要がある。(警備)
長い営業縮小期間があったため回復した場合に人手不足が予想される。(飲食)

売上・採算・業況DIともに大幅に改善し、売上はプラス水準に
コロナ禍収束への期待が強いが、原材料等高騰の影響に懸念拡大

システム建築により自由設計、 ローコスト・短工期を実現！

工場・倉庫・HACCP対応食品工場の建築
おまかせください!!



コスモ建設株式会社

〒950-0983

新潟県新潟市中央区神道寺2-2-25

TEL025-245-7111 FAX025-245-7119

メールアドレス: info@cosmo-k-co.com

コスモ建設(株)

で検索



※日鉄物産システム
建築(株)の施工会員
です。

プラン図
概算見積
無料